

大学番号：公019

注3

[平成23年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

届出

前橋工科大学大学院 工学研究科 システム生体工学専攻

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

前橋市

平成24年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 前橋工科大学事務局総務課

職名・氏名 フクシユカン イシ サカ アツシ  
副主幹 石 坂 敦

電話番号 027-265-0111

（夜間）

F A X 027-265-3837

e-mail jim@maebashi-it.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に

( ) 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

## 目 次

1. 調査対象大学等の概要等	1 頁
2. 授業科目の概要	5 頁
3. 施設・設備の整備状況、経費	7 頁
4. 既設大学等の状況	8 頁
5. 教員組織の状況	10 頁
6. 留意事項に対する履行状況等	13 頁
7. その他全般的事項	14 頁

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

前橋市

## (2) 大学名

前橋工科大学大学院

## (3) 大学の位置

〒371-0816

群馬県前橋市上佐鳥町460番地1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(エモリ カツヒコ) 江守 克彦 (平成19年4月)	(ツジ ユキカズ) 辻 幸和 (平成23年4月)	平成23年4月1日付交代 (23)
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成21年度に報告済の内容 → (21)

平成24年度に報告する内容 → (24)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成22年度開設の博士後期課程の場合(平成24年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
工学研究科 システム生体工学 専攻(M) 修士(工学)	2年	10人	20人	基礎となる学部等  工学部 システム生体工学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成23年度		平成24年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	10 ( ) [ - ]	-	10 ( ) [ - ]	-	1.1倍	
志願者数	12 ( ) [ - ]	-	19 ( ) [ - ]	-		
受験者数	12 ( ) [ - ]	-	19 ( ) [ - ]	-		
合格者数	11 ( ) [ - ]	-	12 ( ) [ - ]	-		
B 入学者数	11 ( ) [ - ]	-	11 ( ) [ - ]	-		
入学定員超過率 B/A	1.1		1.1			

- (注) ・ 数字は, 平成24年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 届出書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成23年度		平成24年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] 11	[ - ] -	[ - ] 11	[ - ] -	
2年次			[ - ] 11	[ - ] -	
3年次					
計	[ - ] 11		[ - ] 22		

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成21年度 入学者							
平成22年度 入学者							
平成23年度 入学者	11人	0人	平成23年度	0人	0人		0%
			平成24年度	0人	0人		
平成24年度 入学者	11人	0人	平成24年度	0人	0人		0%
合計	22人	0人					0%

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<工学研究科 システム生体工学専攻>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
研究科共通科目	データ解析特論	1・2前		2								兼1 新規(24)	
	学術英語特論	4前・後 1・2前・後		2								兼1 開講期変更(24)	
	知財特論	1前 1・2前		2								兼1 開講期変更(24)	
	プレゼンテーション演習	1前 1・2前		2								兼1 開講期変更(24)	
専攻開設科目	シ生 ス態 テ情 ム報 領計 域測	光診断学特論 生体計測工学特論 生体信号処理特論	1後 1前 1後	2 2 2		1 1 1						担当教員追加(24) 担当教員昇格(24)	
	シ生 ス機 テ能 ム能 領制 域御	生体制御システム特論 生体形状処理工学特論 ロボティクス制御特論	1後 1前 1前	2 2 2		1 1 1							
	シ ス テ ム 領 域 神 経	視覚神経科学特論 生体電磁気学特論	1後 1前	2 2		1 1						担当教員昇格(23)	
	領域共通科目	プロジェクトⅠ	1前	2			3 4	4 3	1				担当教員昇格(23) 担当教員昇格(24) 担当教員追加(24)
		プロジェクトⅡ	1後	2			3 4	4 3	1				担当教員昇格(23) 担当教員昇格(24) 担当教員追加(24)
		プロジェクトⅢ	2前	2			3 4	4 3	1				担当教員昇格(23) 担当教員昇格(24) 担当教員追加(24)
		プロジェクトⅣ	2後	2			3 4	4 3	1				担当教員昇格(23) 担当教員昇格(24) 担当教員追加(24)
		インターンシップ	1前・後	2			3 4	4 3	1				担当教員昇格(23) 担当教員昇格(24) 担当教員追加(24)
	特別研究	1~2	10			3 4	4 3	1				担当教員昇格(23) 担当教員昇格(24)	

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。  
 ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

### (2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 6	科目 11	科目 0	科目 17	科目 6	科目 12	科目 0	科目 18	
				[ 0 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。(ただし, 未開講科目があった場合は, (1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。



### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	前橋市の境界変更 (隣接する前橋市民 体育館との境界変更) に伴う減少(24)			
	校舎敷地	53,908.01㎡ 44,783.78㎡	—㎡	—㎡	53,908.01㎡ 44,783.78㎡				
	運動場用地	25,999.61㎡ 22,109.81㎡	—㎡	—㎡	25,999.61㎡ 22,109.81㎡				
	小 計	79,907.62㎡ 66,893.59㎡	—㎡	—㎡	79,907.62㎡ 66,893.59㎡				
	そ の 他	—㎡ 6,279.80㎡	—㎡	—㎡	—㎡ 6,279.80㎡				
	合 計	79,907.62㎡ 73,173.39㎡	—㎡	—㎡	79,907.62㎡ 73,173.39㎡				
(2) 校 舎		専 用 25,120.36㎡ (22,918.08㎡)	共 用 —㎡ ( — ㎡)	共用する他の 学校等の専用 —㎡ ( — ㎡)	計 25,120.36㎡ (22,918.08㎡)	大学の設置等に係る 提出書類作成の手 引きに基づく算出面 積の変更(24)			
(3) 教 室 等	講 義 室 2-5—室 2 3 室	演 習 室 2-7—室 5 5 室	実験実習室 3-5—室 5 0 室	情報処理学習施設 3 室 (補助職員 2人)	語学学習施設 1 室 (補助職員 1人)	大学全体 用途区分の見直しに よる変更(24)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称 工学研究科 システム生体工学専攻			室 数 8 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分 を含む。 老朽化により使用に 耐えなくなった備品 等を廃棄処分にした ことによる変更 (24)	
	工学研究科 生命情報学専攻	78,741〔7,819〕 82,184〔7,537〕 (72,741〔5,819〕)	1,099〔345〕 783〔237〕 (679〔205〕)	70〔70〕 123〔123〕 (69〔69〕)	1,400 1,266 (1,244)	14,400 12,085 (14,096)	— ( — )		
	計	78,741〔7,819〕 82,184〔7,537〕 (72,741〔5,819〕)	1,099〔345〕 783〔237〕 (679〔205〕)	70〔70〕 123〔123〕 (69〔69〕)	1,400 1,266 (1,244)	14,400 12,085 (14,096)	— ( — )		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			大学全体		
	2,076.89㎡	145		100,000					
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体		
	1,865.97㎡	ソフトボール場4面							
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維持 方法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費には電子 ジャーナルを含む 共同研究費等は大学 全体
		教員1人当り研究費等	教授600千円	教授600千円	図書購入費	6,800千円	6,800千円	6,800千円	
			准教授・講師500千円	准教授・講師500千円					
			助教400千円	助教400千円					
	共同研究費等	10,800千円	10,800千円	設備購入費	3,000千円	5,000千円	5,000千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	第1年次は入学科と授業料の総 額を記載 第2年次は授業料のみ記載 なお、前橋市民が入学する場 合、入学金が141千円となる	
817.8千円 (入学金282千円 授業料535.8千円)		535.8千円	—千円	—千円	—千円	—千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			大学院維持に要する経費は前橋市一般会計予算より支出し運営する。 入学科、授業料の学生納付金は、前橋市歳入予算に計上の上、大学院維持経費 に充当し、大学院経費の財源として不足する分は、前橋市一般財源を充当す る。						

- (注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている  
いる場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の  
項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成24年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その  
理由及び報告年度「(23)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を  
併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	前橋工科大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学員	編入学員	収容員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
工学部									
社会環境工学科	4	47	0	188	学士(工学)	1.12	平成19年度	群馬県前橋市上佐鳥町460番地1	
建築学科	4	51	0	204	学士(工学)	1.11	平成9年度		
生命情報学科	4	43	0	172	学士(工学)	1.06	平成19年度		
システム生体工学科	4	43	0	172	学士(工学)	1.09	平成19年度		
生物工学科	4	43	0	172	学士(工学)	1.03	平成19年度		
総合デザイン工学科	4	40	2年次1 3年次1	165	学士(工学)	0.97	平成19年度		
建設工学科									
昼間主コース	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成9年度		※平成19年度より学生募集停止
夜間主コース	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成9年度		//
建築学科									
夜間主コース	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成9年度	※平成19年度より学生募集停止	
情報工学科									
昼間主コース	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成9年度	※平成19年度より学生募集停止	
夜間主コース	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成9年度	//	
大学の名称									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学員	編入学員	収容員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科（AC対象学部等を含む）について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。  
（専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 5 教員組織の状況

<工学研究科 システム生体工学専攻（前期課程）>

### (1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	原川 哲美	平成23年4月	生体制御システム特論 プロジェクトI プロジェクトII プロジェクトIII プロジェクトIV インターンシップ 特別研究						
専	教授	今村 一之	平成23年4月	視覚神経科学特論 プロジェクトI プロジェクトII プロジェクトIII プロジェクトIV インターンシップ 特別研究						
専	教授	野村 保友	平成23年4月	光診断学特論 プロジェクトI プロジェクトII プロジェクトIII プロジェクトIV インターンシップ 特別研究						
専	准教授	岡田 富男	平成23年4月	生体電磁気学特論 プロジェクトI プロジェクトII プロジェクトIII プロジェクトIV インターンシップ 特別研究	専	教授	岡田 富男	平成23年4月	生体電磁気学特論 プロジェクトI プロジェクトII プロジェクトIII プロジェクトIV インターンシップ 特別研究	平成23年4月昇格 (23)
専	准教授	向井 伸治	平成23年4月	生体形状処理工学特論 プロジェクトI プロジェクトII プロジェクトIII プロジェクトIV インターンシップ 特別研究						
専	准教授	王 鋒	平成23年4月	生体計測工学特論 プロジェクトI プロジェクトII プロジェクトIII プロジェクトIV インターンシップ 特別研究						
専	准教授	朱 赤	平成23年4月	ロボティクス制御特論 プロジェクトI プロジェクトII プロジェクトIII プロジェクトIV インターンシップ 特別研究						
専	講師	松本 浩樹	平成23年4月	生体信号処理特論 プロジェクトI プロジェクトII プロジェクトIII プロジェクトIV インターンシップ 特別研究	専	准教授	松本 浩樹	平成24年4月	生体信号処理特論 プロジェクトI プロジェクトII プロジェクトIII プロジェクトIV インターンシップ 特別研究	平成24年4月昇格 (24)
					専	講師	小田垣 雅人	平成24年4月	生体計測工学特論 プロジェクトI プロジェクトII プロジェクトIII プロジェクトIV インターンシップ	平成24年4月採用 (24)
兼任	准教授	原島 秀人	平成23年4月	学術英語特論 【研究科共通科目】						
兼任	非常勤 講師	羽鳥 亘	平成23年4月	知財特論 【研究科共通科目】						
兼任	非常勤 講師	古谷 千里	平成23年4月	プレゼンテーション演習 【研究科共通科目】						
					兼任	教授	菅原 一晴	平成24年4月	データ解析特論 【研究科共通科目】	研究科共通科目の増設 (24)

(注) ・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程))の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・年齢は、「**認可時の計画**」には**当該学部等の就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成24年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

## (2) 専任教員数

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
8		8		8	1	9		
( 8 )	( )	( 8 )	( )	[ 0 ]	[ 1 ]	[ 1 ]	[ ]	

(注) ・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1		該当なし	
2			
3			

(注) ・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

(注) ・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。  
・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (平成23年5月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

## 7 その他全般的事項

<工学研究科 システム生体工学専攻>

### (1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

前橋工科大学評価・改善委員会

前橋工科大学ファカルティ・ディベロップメント委員会

##### b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

###### ・評価・改善委員会

構成員 学長、副学長、工学部長(工学研究科長)、学科長(専攻主任)、センター長、事務局長  
開催回数 5回

###### ・ファカルティ・ディベロップメント委員会

構成員 学長、副学長、工学部長、学科長、専攻主任、基礎教育センター副センター長、教務委員長  
開催回数 2回

##### c 委員会の審議事項等

###### ・評価・改善委員会

教育研究活動等の質保証・活性化についての評価・改善に関すること。

社会に対する教育研究活動等の状況の説明についての評価・改善に関すること。

###### ・ファカルティ・ディベロップメント委員会

教員の授業の内容及び方法の改善並びに向上のための組織的な取り組みの実施

効果的な授業方法についての研修会の実施

新任教員のための支援体制の形成

#### ② 実施状況

##### a 実施内容

- ・ FD研修会の開催、フォーラム等への参加
- ・ 教員相互の授業参観(学部)
- ・ 学生授業アンケート(学部)
- ・ 外部評価委員会の開催



- b 実施方法
  - ・全教員を対象とした研修会の開催
  - ・他大学・機関等におけるフォーラム等への参加
  - ・学生授業アンケートへの教員コメントの提出
  - ・FD活動報告書の作成
  - ・外部評価委員会報告書の作成
- c 開催状況（教員の参加状況含む）
 

学部での実施の際に併せて実施
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 

実施結果を踏まえ、事業内容等の改善・向上に取り組む。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

- a 実施の有無及び実施時期
 

平成23年度は学部での実施のため実施していない。
- b 教員や学生への公開状況，方法等
 

「教育力の向上・FD活動報告書」を作成し、公開している。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）  
 ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的に基づく教育研究が実施できる体制を整えることができたものと評価している。

② 自己点検・評価報告書

- a 公表（予定）時期
 

今年度中に本専攻に係る評価を実施し、公表する予定である。
- b 公表方法
 

冊子及びホームページへの公開を予定。

③ 認証評価を受ける計画

平成21年度に受審（大学評価・学位授与機構）したことから、今回は、平成28年度に大学機関別認証評価受審を予定している。

(注) ・届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
 また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
 なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。  
 ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (  有  無 )
- b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成24年 6月 1日 )